

令和5年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	9	議席 番号	5	氏名	赤池弘源 議員	1 / 1
発言項目		要 旨				答弁者
1	学校内樹木が子どもたちに与える緑の影響について	<p>富士宮市緑の基本計画の第1章、緑の現況と課題の環境教育・学習の場において「市民の緑に対する意識を高めるためには、子どもの頃からの教育が重要です。」と記載されている。そこで、子どもたちにとって身近な校内樹木が重要であると考え、以下伺う。</p> <p>(1) 小中学校では校内の樹木を、子どもたちの緑の意識を高めるためにどのように活用しているのか伺う。</p> <p>(2) 子どもたちが樹木の緑から得られる心理的効果に、ストレスや不安を和らげる効果があるとされている。教育長の考えを伺う。</p> <p>(3) 現在の校内樹木の管理では、樹木の持つ緑の効果を子どもたちに十分に与えることはできていないと考える。子どもの頃から緑に対する意識を高める校内緑化計画が必要であると思うが、市の考えを伺う。</p>				市長 副市長 教育長 関係部長
2	国民主権が反映されるための投票率向上策について	<p>投票率を向上させることは、我が国の「国民主権」を実現するために必要不可欠な要素である。特に若者の投票率は低く、多様性が反映されないことにより、民主主義の本質的機能を果たすことが難しくなってしまう。当市の民主主義の本質を実現するため、以下伺う。</p> <p>(1) 投票率の低下は、若年層の投票率低下として捉えてよいのか。過去の投票率から市の考えを伺う。</p> <p>(2) 新たにイオンモール富士宮に期日前投票所を設けたことによる成果について伺う。</p> <p>(3) 若者は市政に一定の関心はある。しかし情報を得られていないため選挙に行く気にはなれない。そこで若い世代を対象に、第5次富士宮市総合計画後期基本計画を解説する講座を提案する。市の考えを伺う。</p>				市長 副市長 関係部長
3	万野・山宮地区における新たな公共交通「モビ」について	<p>第5次富士宮市総合計画後期基本計画の基本目標6の政策5「公共交通が整備された便利なまち」で、民間のバス路線の維持及び宮バス・宮タクを運行することにより、市民の利便性を考慮した交通体系の整備に努めるとあるが公共交通の取組は世界中にあり、常に新しい取組にして、アンテナを高くして取り組んでいく必要があると考え、以下のことを伺う。</p> <p>(1) 万野・山宮地区は宮バスの路線網が不十分だという市民の声を聞く。当局の見解を伺う。</p> <p>(2) 北欧発信の「モビ」を実証実験している地方公共団体がある。これまでの取組である宮タク及び宮バスを更に進めるために「モビ」のシステムについて市の考えを伺う。</p>				市長 副市長 関係部長